

【表紙】

【提出書類】	意見表明報告書の訂正報告書
【提出先】	関東財務局長
【提出日】	平成25年 5月14日
【報告者の名称】	株式会社メガネトップ
【報告者の所在地】	静岡県葵区伝馬町 8 番地の 6
【最寄りの連絡場所】	同上
【電話番号】	054-275-5000(代)
【事務連絡者氏名】	取締役 管理本部長兼企画本部長 蓬生満
【縦覧に供する場所】	株式会社メガネトップ (静岡県葵区伝馬町 8 番地の 6) 株式会社東京証券取引所 (東京都中央区日本橋兜町 2 番 1 号)

1【意見表明報告書の訂正報告書の提出理由】

平成25年4月16日付で提出した意見表明報告書の記載事項の一部に訂正及び追加すべき事項がございますので、金融商品取引法（昭和23年法律第25号、その後の改正を含みます。）第27条の10第8項において準用する同法第27条の8第2項の規定に基づき、意見表明報告書の訂正報告書を提出するものであります。

2【訂正事項】

3 当該公開買付けに関する意見の内容、根拠及び理由

(2) 本公開買付けに関する意見の根拠及び理由

本公開買付けに賛同するに至った意思決定の過程及び本公開買付け後の経営方針

3【訂正前の内容及び訂正後の内容】

訂正箇所には下線を付しております。

3【当該公開買付けに関する意見の内容、根拠及び理由】

(2) 本公開買付けに関する意見の根拠及び理由

本公開買付けに賛同するに至った意思決定の過程及び本公開買付け後の経営方針

< 訂正前 >

(前略)

なお、平成25年2月8日付公表の当社の平成25年3月期第3四半期決算短信によれば、当社の平成25年3月期の業績はこれを上回ることが予想されております。

しかしながら、近年、当社が属する眼鏡業界におきましては、企業間の価格競争による単価低下により、市場規模が縮小傾向にある一方で、消費者マインドの変化に伴い、デザイン性や機能性の高い商品を志向する動きが一段と強まってきており、それに対応した商品開発、店舗展開及び価格戦略の見直しが求められております。加えて、このような環境の変化を捉え、低価格帯の商品を中心に急速にシェアを増加させている競合他社の台頭が見られる状況にあり、更なる競争環境の激化が想定されるなど、将来的に当社を取り巻く経営環境は厳しくなっていくことが見込まれております。

(後略)

< 訂正後 >

(前略)

なお、平成25年5月14日公表の当社の平成25年3月期決算短信のとおり、当社の平成25年3月期の業績は、売上高677億円、営業利益94億円と平成24年3月期を上回る業績を達成することが出来ました。

しかしながら、近年、当社が属する眼鏡業界におきましては、企業間の価格競争による単価低下により、市場規模が縮小傾向にある一方で、消費者マインドの変化に伴い、デザイン性や機能性の高い商品を志向する動きが一段と強まってきており、それに対応した商品開発、店舗展開及び価格戦略の見直しが求められております。加えて、このような環境の変化を捉え、低価格帯の商品を中心に急速にシェアを増加させている競合他社の台頭が見られる状況にあり、更なる競争環境の激化が想定されております。なお、平成25年3月期決算短信のとおり、平成25年3月期の既存店売上高は前年比マイナスに転じております。また、当社が平成25年5月1日に公表したメガネトップグループ平成26年3月期月次売上状況のとおり、平成25年4月の既存店月次売上高は、前年比 5.6%となっております。加えて、足許の円安の為替動向が継続する場合は、仕入原価が上昇する可能性も否定できないことから、当社を取り巻く経営環境は更に厳しくなっていくことが見込まれております。

(後略)

以上